

かいだん えが  
階段を描く  
せいかつ とし ひょうじょう  
生活にある都市の表情



やぶの けん  
藪野 健

© Fuchu Art Museum 2021



## ざいりょう どうぐ 材料・道具



### 【材料】

- ・水彩紙 1枚
- ・鉛筆 1本
- ・色鉛筆（油性） 数色
- ・水彩絵の具 数色
- ・製図用インク 1個
- ・水 適量

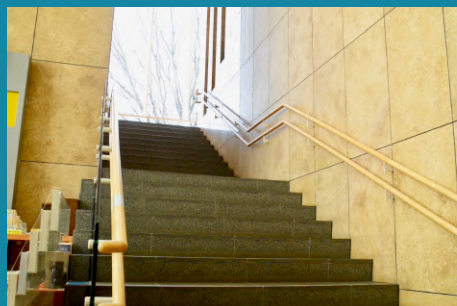
### 【道具】

- ・画板 1枚
- ・クリップ 2個
- ・直線定規 1本
- ・水彩道具一式（パレット・筆・筆洗など） 1組
- ・つけペン（ペン先とペン軸） 1セット
- ・水筆 1本
- ・カッター 1本



# かいだん えが 階段を描く

絵を描いていると、光が移っていったり、あるいは急に天候が変わったりする。  
それに応じて絵を進めていくことが、実際のものを前にして絵を描くときの楽しみでもある。



はじめに、  
階段の風景をみて・・・



直線定規をつかい、  
鉛筆で水平線と垂直線をひく  
・線に影響されすぎないように、薄めに。



全体像をつかみ、おおまかに描く  
・階段の位置は、どこから、どこまでか。  
・何を描きたいのかを意識しながら。



直線定規をつかい、修正しながら

- ・目地をきちんと捉えていくと、  
階段のリアリティがでてくる。
- ・描いていくうち、この建物は整合性があり、  
規則正しいピッチでつくられていることが  
わかってくる。



壁や窓の風景も描き進める

- ・無機質な物の中に、  
生きている枝を描くことは楽しい。



色鉛筆で色合いをだす

- ・階段をひとつひとつ、  
自分でつくっていくような気分で。
- ・暗いところ・明るいところの  
色を分けながら、塗っていく。
- ・白色は石が張ってある質感を表現できる。
- ・灰色は光の入っている部分を残して塗る。

# かいだん えが 階段を描く

皆さんの身近な階段や広場、橋、川、路地、電車、生活の中の様々な表情を捉え、そして捉えるだけでなく、絵にしてみたいと思います。



## 絵の具で色をつけていく

- ・ 全体の色調や明暗をつけていく。
- ・ 絵の具を重ねると、下に置いた色鉛筆の色が効いてくる。
- ・ エッジを出す部分、大胆に塗る部分を意識しながら。
- ・ 階段と壁は、質感を出し描き分ける。
- ・ 印象が深いところは、強く色をつける。



## 色鉛筆を入れ、 絵の具で描いたところを起こす

- ・ 生乾きのうちに色鉛筆を入れておくと、不思議な質感がでる。
- ・ 水性の絵の具と油性の色鉛筆と、反発する画材を併用することで、色々な表情がでてくる。



## もう一度、水平垂直を確かめる

- ・ 直線定規をつかい、鉛筆で線を入れる。
- ・ 時々、離れてみて、全体を確かめる。



## ペンを入れる

- ・ 線をひくときは、一気にひいて、途中で止まらないこと。



## 仕上げ

- ・ 色鉛筆や絵の具の様々な色をつかって、質感を強調する。
- ・ ペンでエッジを際立たせる。



完成！